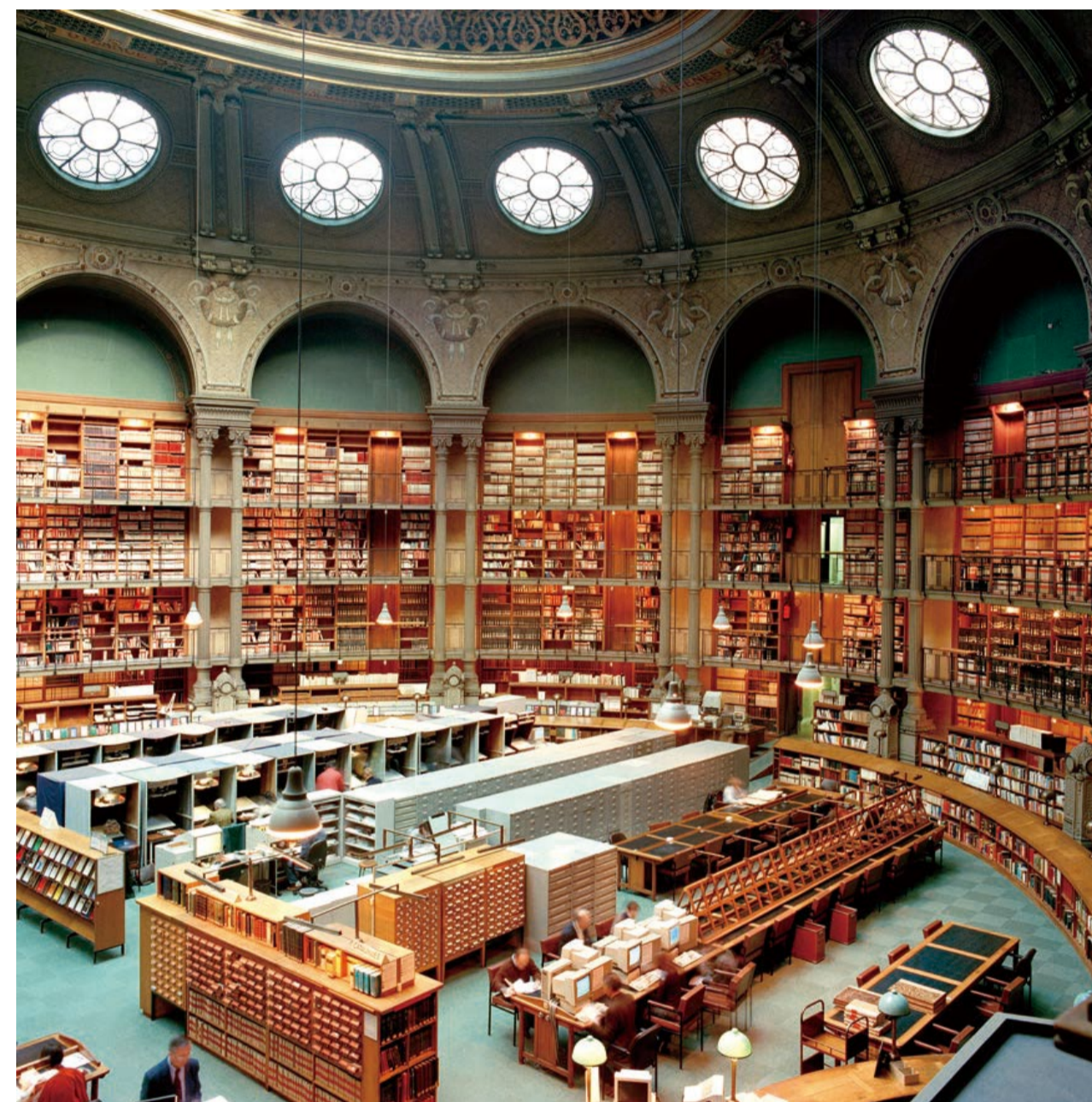




CANDIDA HOFER Archivo General de Indias Sevilla IV 2010



CANDIDA HOFER BNF Paris 1998

消えゆく名建築  
アートが住み着き  
記憶する

# MATSUMOTO Architecture+Art Festival 2024

## A N N E X

会期: 2024年2月23日(金)~3月24日(日) 31日間  
会場: 旧松本市立博物館(メイン会場) / 新松本市立博物館1F / 信毎メディアガーデン  
主催: マツモト建築芸術祭実行委員会  
委員長: 齊藤忠政(屏ホールディングス株式会社代表)  
総合ディレクター: おおうちおさむ(有限会社ナノノグラフィックス代表)

### 特別協賛

屏ホールディングス株式会社

### 会場設営協力・協賛

有限会社アルプ  
セイコーエプソン株式会社  
有限会社今井表具店  
信濃毎日新聞社  
TRNK exhibition preparation

### 後援

松本市  
松本市教育委員会  
長野県  
ドイツ連邦共和国大使館  
松本商工会議所  
松本商店街連盟  
信濃毎日新聞社  
市民タイムス  
中日新聞社  
NHK長野放送局  
SBC信越放送  
NBS長野放送  
TSBテレビ信州  
abn長野朝日放送  
FM長野  
FMまつと

### 協賛

株式会社アスピア  
株式会社アルゴオートサービス  
株式会社興設計  
有限会社池田  
エイワ板理士法人  
エポンジュ  
株式会社小川原塗装店  
北野建設株式会社  
株式会社五幸  
株式会社小林創建  
株式会社コンフォール  
三協電気工業株式会社  
市民タイムス  
株式会社信州グリーン  
人生設計ナビ  
株式会社滝澤工務店  
株式会社日本旅行  
株式会社八十二銀行  
藤原印刷株式会社  
松本信用金庫  
松本日産自動車株式会社  
株式会社村瀬組  
株式会社八幡屋鐵五郎  
株式会社ユーリズム  
(五十音順)

### 協力

株式会社アートオブセッション  
ART PASS  
KOTARO NUKAGA  
有限会社寿昇運  
SixSense株式会社  
可化成工業株式会社  
株式会社寺岡製作所  
麗温泉明神館  
有限会社ナノノグラフィックス  
株式会社新村  
フライトベース  
松本丸の内ホテル  
ミヅマートギャラリー  
MORI YU GALLERY  
rin art association  
和花  
(五十音順)

### 助成

公益財団法人 憲研究所  
公益財団法人 福武財団  
松本観光コンベンション協会  
読者支援事業

# MATSUMOTO Architecture+Art Festival 2024

## A N N E X

maaf.jp



Old Matsumoto City Museum (main venue)  
Open:10:00 Close:17:00  
Admission fee: General ¥2,000  
High school / University students ¥1,500  
Junior high school students and under free

New Matsumoto City Museum  
Open:9:00 Close:21:00 Admission free

Shinmai Media Garden (3/10-3/13 12:00)  
Open:8:00 Close:22:00 Admission free

2/23 fri 3/24 sun 建築芸術祭

01 TAKASHI NAKAJIMA

中島 崇



1972年東京都生まれ。大規模なインスタレーションを数多く手がける。透過性の素材や間隙を効果的に用いた作品は透過光や影を生み出し、作品空間とその周辺に広がる環境を双方向的に結び付け、観る人を没入体験へと誘う。

3.10 Workshop

3月10日、信毎メディアガーデンにてワークショップを開催。その後、成果展示を開催。詳細は公式HPにて発表します。

02 SHINTARO SHIRATORI

白鳥真太郎



松本市出身の写真家。公益社団法人日本広告写真家協会会長を務める。資生堂宣伝部写真部、博報堂写真部を経て、1989年に白鳥写真事務所を設立。現在も得意とするポートレートを始め、広告写真の第一線を走り続ける。

03 KENGO KITO

鬼頭健吾



1977年愛知県生まれ。京都芸術大学大学院教授。フラワーやバラソールなどの工業製品を空間に充満させた作品のほか、近年は、布や鏡などを建物の構造や自然および人工の光といった環境に接続、干渉する作品を発表している。

04 HIROFUMI ISOYA

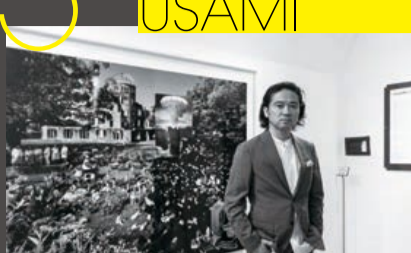
磯谷博史



1978年東京都生まれ。東京藝術大学で建築、同大学大学院先端芸術表現科およびロンドン大学ゴールドスミスカレッジで美術を学ぶ。写真、彫刻、ドローイングを通じて、知覚の複数性と時間の多様な性質を再考している。

05 MASAHIRO USAMI

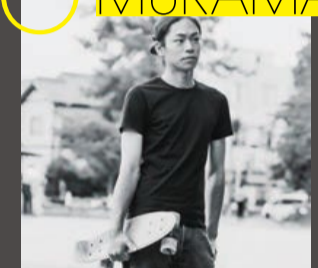
宇佐美雅浩



1972年千葉県生まれ。様々な地域や立場におかれた人々と、その人物の世界を表現するものや人々を周囲に配置し、仏教絵画の曼荼羅のごとく1枚の写真に収める「Manda-la」プロジェクトを大学在学中から20年以上続けている。

06 HIDETOSHI MURAMATSU

村松英俊



1988年静岡県生まれ。京都造形芸術大学、東北芸術工科大学大学院で彫刻を学ぶ。「モノの持つ記憶」をテーマに、道具など既製品の一部を大理石などの石に置き換え、モノが石化してゆくかのような作品を制作している。

07 YOSHIHIRO SUDA


須田悦弘



1969年山梨県生まれ。多摩美術大学グラフィックデザイン科卒。現在、東京都在住。本物と見紛うほど精緻な花や草を木彫りで作り、それらを思いがけない場所に設置して空間全体をインスタレーションとする作品を制作する。

08 HISAYA KUMANO

能野寿哉



華道家、空間演出家。幼少の頃から美術に囲まれた環境で育ち、学生時代は油絵を学ぶ。華道家としての活動も長く、国内外で幅広く活躍。花が飾られる空間まで作り込み、幻想的な独特の世界観は多くの人を魅了している。

09 KEN YASHIKI

谷敷謙



1983年東京都生まれ。幼少期をアメリカで過ごし、帰国後に服飾を学ぶ。「存在を証明し、語り継ぐこと」をテーマに、日本固有の木目込み技術で、実際に誰かが着用した衣類を用いたポートレート・ペインティングを制作する。

10 FUMIYA FUJII

藤井フミヤ



1993年のチェックズ解散後、10年間、音楽活動と共にCG作品を発表。国内各地、パリ、ニューヨークにも巡回する。2019年にアート活動を再開し、油彩、水彩など多様な技法による作品で構成する展覧会を全国の美術館で開催している。

11 SATOSHI ITASAKA

板坂諭



1978年生まれ。建築家・アーティスト。2012年に建築設計、プロダクトデザイン、アートの製作など幅広い分野で創作活動を行う株式会社the design laboを設立。イタリアでも個展を開くなど、国内外でジャンルを超えた活動を行う。

12 TEPPEI SOUTOME

五月女哲平



1980年栃木県生まれ。絵画を中心に立体、写真、映像などを織り交ぜた作品を発表。近年は、絵具の積層の中にアクリルや写真、ガラス、シルクスクリーンなど異なるメディアが介在する新たな作品制作にも取り組んでいる。

13 KEN+JULIA YONETANI

米谷健+ジュリア



日本人とオーストラリア人のユニット。インスタレーション、パフォーマンス、写真、映像、立体など、環境問題や社会問題を主題とした作品を制作。現在は京都の農村で無農薬農業も兼業し、グローバルに制作・展示活動を行う。

14 CANDIDA HÖFER

カンディダ・ヘーファー



1994年、ドイツ生まれの写真家。建築物のインテリアを徹密に構成した大判カラー写真で知られる。被写体は図書館や博物館などの文化的施設が多く、誰もいない公共空間に漂う心理的な残骸を捉えた作品は、国際的な評価も高い。

15 MASAYUKI KAWAI

河合政之



ビデオアーティスト、理論家。1972年大阪府生まれ。映像・メディアの本質について哲学的考察や情報社会批判の観点から、独自の作風で制作。映画、現代美術、ライブ・パフォーマンスなどの横断的な活動を国際的に展開する。

2.23 special live

新松本市立博物館・階段スペースにて、河合政之スペシャルライブを開催します。2月23日18:00~ 入場無料

16 SHORTSHORTS



ショートフィルムの総合ブランド。米国アカデミー賞公認・アジア最大級の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア」(SSFF & ASIA)を毎年開催するほか、作品配給や映像コンテンツの製作などを行う。

新松本市立博物館・階段スペースにて、下記スケジュールで毎日上映します。

鑑賞無料

上映時間 77分

- 1回目 9:30
- 2回目 11:30
- 3回目 13:30
- 4回目 15:30
- 5回目 17:30
- 6回目 19:30

\*新博物館のイベント開催などの都合で、変更になる場合がありますので、公式HPにてご確認ください。

上映作品の詳細はこちらからご確認ください。



17 MOUSE ON THE KEYS

マウス・オン・ザ・キーズ

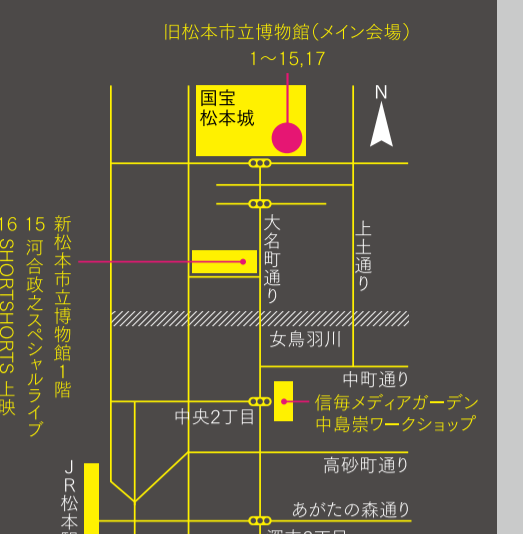


川崎昭、新留大介、白枝匠充によるトリオ編成のインストルメンタルバンド。琴線に響くピアノとシンセをベースにしたミニマリズムとアグレッシブなドラムサウンドが絡むライブパフォーマンスは、国内外で大きな注目を集める。

3.24 special live

マツモト建築芸術祭 最終日 閉館後1回だけのスペシャルライブ。旧博物館全体を彼らの演奏で包み込みます。詳細は公式HPにて発表します。

Venue map



旧松本市立博物館(メイン会場) 1~15,17

16 河合政之スペシャルライブ

15 信毎メディアガーデン 中島崇ワークショップ

National Treasure Matsumoto Jo Castle

Main venue Matsumoto City Museum (old)

旧松本市立博物館(メイン会場)

Open:10:00 ~ Close:17:00

入場料:一般 ¥2,000

高校生・大学生 ¥1,500 / 中学生以下無料

新松本市立博物館

Open:9:00 ~ Close:21:00

SHORTSHORTS:鑑賞無料

有料:2階特別展示・3階常設展示

信毎メディアガーデン(3/10~3/13 12:00)

Open:8:00 ~ Close:22:00

ワークショップ:3/10(時間未定)参加無料

ワークショップ成果展示:鑑賞無料

\*各情報は急な変更の可能性がありますので、公式HPにてご確認ください。

トークショーやワークショップなどの、アソシエイトプログラムを、公式HPにて、随時発表していきます。

公式HP maaf.jp

instagram Facebook X

旧博物館前にて、キッチンカー出店! 温かいドリンク、フードを各種販売中!

